

## 『現代女性とキャリア』第4号によせて

現代女性キャリア研究所長

岩田 正美

本研究所紀要『現代女性とキャリア』は、創刊号よりたんに研究所の紀要ということだけでなく、本学内でさまざまに実施されている女性のキャリア支援や女性についての研究・教育の総合的な発信の場として位置づけたいと考えて参りました。本紀要に「動向」欄をおいたのは、そのためです。同じ大学にあっても、なかなか意思疎通は難しく、どこが何をやっているのか、わかりづらい、ということが、どこの大学にもあるようです。学生の就職支援に定評がある本学も、キャリア支援課の活躍だけでなく、西生田キャンパスの「キャリア女性学副専攻」、目白キャンパスの「現代女性とキャリア連携専攻」、現代社会で女性のキャリアを十分伸ばすことに主眼を置いた教養特別講義2の講義、リカレント教育課程、教職教育開発センターなど、多様な試みが行われつつあります。本紀要で、これらの活動の一端を発信しようということで、お忙しい中それぞれの担当者に執筆をお願いしております。「動向欄」にもどうぞご注目下さい。

また、このような学内の情報交換だけでなく、本号からは、外部の研究者・大学院生等からの投稿論文を掲載することにしました。これは査読付き論文です。このために査読体制を作り、本号にその第1号論文が掲載される運びとなり、編集委員会一同大変喜んでおります。今後も皆様どうぞふるってご応募下さい。

本号では、昨年末に開催したシンポジウム「災害復興と女性の自立」の内容を特集で掲載しております。まだまだ復興の道は遠く、心ふさがれる想いですが、被災地の女性たち、あるいはそれを支える全国の女性たちの力に勇気づけられもします。このほか本号では、昨年度実施したインターネットによる女性と再就職支援に関する調査の現時点での集計・分析結果を掲載しました。女性の卒業後の職業キャリアパターンの断続性、およびその理由が結婚・子育てだけではないことが、大変はっきりする内容となりました。今後本学で教職資格をとった方々への調査、リカレント教育課程修了生への調査などが続きますので、これらの結果についても、どうぞご期待下さい。